



競輪補助事業完了のお知らせ

この度、2024年度の競輪の補助を受けて、以下の事業を完了いたしました。
本事業の実施により、施設利用者の余暇活動や医療機関受診などでの移送が安心して行えます。

記

事業名	2024年度公益事業振興補助事業
事業の内容	福祉車両の整備
実施場所	仙台市青葉区上愛子字道上59-4 ひかり苑
完了年月日	2024年8月9日



社会福祉法人みずきの郷
理事長 米倉 尚美

JKAの競輪補助事業による福祉車両（日産セレナ）整備事業 事業評価（自己評価）報告

1 稼働状況等（2024年8月9日～9月30日 53日間）

(1) 使用回数（出庫～入庫を1回とカウント）

- ・8/9～8/31 20回（23日間のうち15日間使用）
- ・9/1～9/30 18回（30日間のうち14日間使用）

(2) 走行距離

- ・8/9～8/31 398km
- ・9/1～9/30 219km

(3) 使用目的 内訳

- ・8/9～8/31 利用者の通院13回、薬の受取2回、余暇活動2回
家族会の送迎2回
- ・9/1～9/30 利用者の通院13回、薬の受取2回、事務連絡3回

(4) 行先 内訳

- ・8/9～8/31 医療機関13回、薬局2回、飲食店2回、JR愛子駅1回、
市営バス白沢車庫1回、市総合支所1回
- ・9/1～9/30 医療機関14回、薬局2回、銀行1回、自動車販売店1回

(5) 情報発信（事業完了報告）

- ・9/1～9/30 法人ホームページへのアクセス数 3,606件
- ・ひかり苑だより9月号 100部発行

2 評価委員会（10/1開催）での意見等

(1) 稼働状況等に対する振返り・意見

- ・納車日前後は、頻回に通院治療を要する利用者があったため、計画より早い納車で助かった。結果的に、通院目的の利用が多くなった。
- ・主な使用目的としては余暇活動支援を想定していたが、8月、9月の実績内訳においては少なくなっている。10月からは余暇活動支援での使用増を見込んでいる。

・家族会開催時の送迎の際、車両が新しくなったことと、競輪の補助金を受けていることに気付いた保護者がいた。

・情報発信について、法人ホームページへのアクセス数が伸びており、その要因は見当がつけにくいだが、求人情報へのアクセス数の伸びはある模様。

(2) 今後の課題について

- ・今回、苑全体としては増車となる車両導入であったが、他の車両を含む全体の使用回数は増えている。来年末に従来車両の車検時期となるが、これを存続させるか否かを検討しつつ、使用状況を注視していく必要がある。
- ・いずれにしても、従来車両と導入車両との用途分担を整理する必要がある。

(3) その他意見等

- ・福祉車両の購入費補助について、類似事業を実施している別の団体では、対象を通所施設に限定していることから、JKAがそうした制限を設けていないのは貴重な取扱であると言える。
- ・また、別団体の補助事業の場合は、自動車メーカーとの間で仕様を細かく固定してから募集されるため、補助を受ける側の裁量が小さくなるが、JKAの補助事業は排気量など大枠を遵守すれば、オプション類追加の自由度が高いのが魅力。

(4) まとめ

- ・事前計画に掲げた目標値「余暇活動支援、定期受診等にて、月に16日以上稼働を想定」は、使用日数では若干下回るが、使用回数としては目標値に達した。
- ・同じく情報発信の目標値「法人のホームページ 月間延べ2,833人（年間延べ34,000人）程度閲覧」及び「ひかり苑だより 月100部発行」は達成した。
- ・車両の使用目的・行先について、8月から9月にかけては利用者の状況により医療機関受診に偏らざるを得なかったが、10月からは余暇活動支援を始め、当施設の立地面のハンディを補うものとして、導入車両を一層活用できると見込む。